

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査日	2019 年	2 月	6 日	記入者	橋詰輝己
調査者名	大谷	久門	鈴木	橋詰	

調査対象先	圓證寺(真言律宗)				
所在地	生駒市上町4713			電話番号	0743-79-1170
代表者 調査対応者	服部 鳳圓(住職)				
対象文化財	彫刻	県指定:	1 件	国宝:	件
	建造物	県指定:	棟	国宝:	棟

地震対策

①対策の現況	<input type="radio"/> A:実施済 <input checked="" type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	昭和60年(1985)に奈良市から移転した時、本堂の柱の腐食部分は取り替えている。屋根瓦は当時のまま使用している。
	今後の予定	特になし。
	要望	特になし。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

防火対策

①対策の現況	<input checked="" type="radio"/> A:実施済 <input type="radio"/> B:一部実施済 <input type="radio"/> C:未実施	
② ①の回答が A、Bの場合	対策の経緯、 内容	年2回の防災管理業者の点検と年1回の消防署の立ち入り検査を受けている。本堂の天井裏、客殿などの各部屋の天井に火災感知器を設置している。本堂にも消火器を設置。避雷針はなし。
	今後の予定	特になし。
	要望	特になし。
③ ①の回答が Cの場合	実施して いない理由	<input type="checkbox"/> 対策の必要がない <input type="checkbox"/> 資金が足りない <input type="checkbox"/> その他()
	今後の予定	
	要望	

奈良県指定文化財(彫刻・建造物)の「災害対策等現況調査」調査票

調査対象先	圓證寺(真言律宗)
-------	-----------

獣害・白アリ等の対策		
① 獣害等被害	<input checked="" type="radio"/> A: 経験あり	<input type="radio"/> B: 経験なし
② ①の回答がAの場合	どのような被害か	シロアリは昭和60年の移転時に本殿の腐食部分を修理し、現在は問題ない。寺の庭園にはカラスの被害があり、テグスを張り防止している。アライグマは出没確認。スズメバチは毎年巣をつくる。
③ 今後	今後の予定、要望	特になし。

県指定の木造釈迦如来坐像を安置する本堂(重文)



本堂裏の消火器(左)、敷地内の消火用ホース



寺の境内にカラスよけのテグスが張られている



本堂の柱の腐食部分はで移転時に一部を交換



客殿(左)、その部屋の天井の火災感知器



【調査票記入者(橋詰輝己)の感想】

災害調査項目では全て守られており問題はなかった。隣接する場所で産業廃棄物の粉じんが隙間からお堂の中まで入り込み、仏像までほこりをかぶるなど苦労が絶えないとの悩みをうかがった。